ALTO PROFESSIONAL

KICK 12

ユーザガイド

株式会社ニュマークジャパンコーポレーション

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。

このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。

このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラクは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2 つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。（聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください）。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] http://alto-professional.jp/

[MAIL] info@alto-professional.jp

ALTO PROFESSIONAL

<お問い合わせ>

株式会社ニュマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL：03-6277-2231　FAX：03-6277-0025

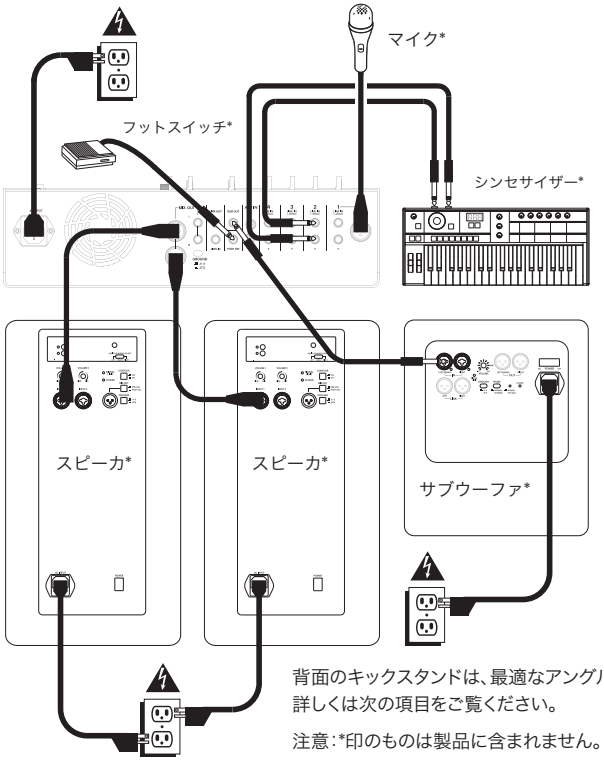
同梱品

KICK12本体、電源ケーブル、ユーザガイド（本書）、保証書（本書巻末）

特長

- CH1にXLRインプットを備えた4チャンネル・ステレオ・ラインミキサ搭載
- 連続200W、ピーク400W出力
- 12インチ低音ドライバ、1インチ・コンプレッション・ドライバ
- カスタムチューンのクロスオーバで、優れた周波数特性を提供
- 高音域と低音域をそれぞれ専用に駆動させる真のバイアンプ設計
- リバーブ、ディレイ、コーラスなど16タイプ&16バリエーションの計256のAlesisエフェクタ内蔵
- 最適化された角度に設置されたスピーカ・バッフル、畳めるキックスタンド
- 4チャンネルすべてにレベル調整、エフェクト、ハイ・ロー音質調整を配置
- AUX入力端子（RCA）装備、携帯音楽プレーヤなどを接続可能
- エフェクタのオン・オフを切り替え可能なフットスイッチ端子装備
- 独立して音量調整可能なヘッドフォン端子
- XLR及び1/4"ミックスアウト端子
- グラウンド・リフト・スイッチ

接続例

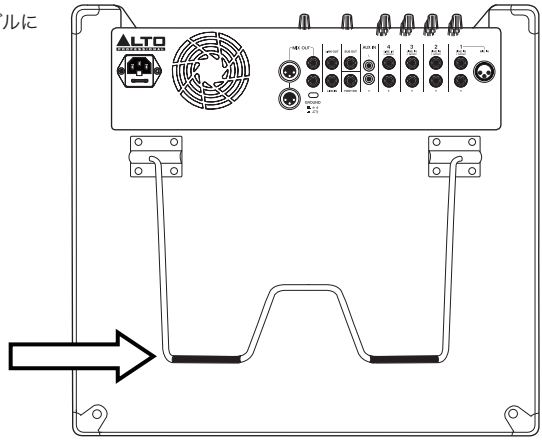


背面のキックスタンドは、最適なアングルに設置するために使用します。詳しくは次の項目をご覧ください。

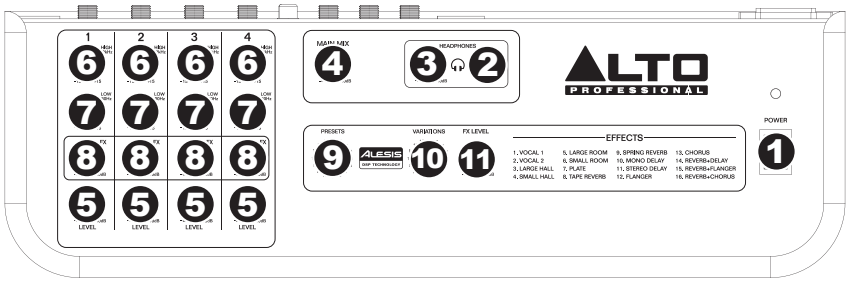
注意：*印のものは製品に含まれません。

キックスタンド

背面のキックスタンドは、最適なアングルに設置するために使用します。



トップパネル



1. **POWER SWITCH(電源スイッチ)** - 本体の電源をオン・オフします。電源を入れる前に、必ずMAIN MIX(メイン・ボリューム)とHEADPHONES VOLUME(ヘッドフォン・ボリューム)が「0」になっていることを確認してください。電源がオンになっている時にはスイッチのLEDが点灯します。

2. **HEADPHONES OUTPUT(ヘッドフォン端子)** - ヘッドフォンを接続します(1/4"標準フォン端子)

3. **HEADPHONES VOLUME(ヘッドフォン・ボリューム)** - ヘッドフォンの音量を調整します。

4. **MAIN MIX(メイン・ボリューム)** - 本体のメイン・ボリュームを調整します。

5. **CHANNEL LEVEL(チャンネル・レベル)** - 各チャンネルのレベルを調整します。

6. **CHANNEL HIGH EQ(チャンネル High EQ)** - 各チャンネルの高域レベルを調整します。

7. **CHANNEL LOW EQ(チャンネル Low EQ)** - 各チャンネルの低域レベルを調整します。

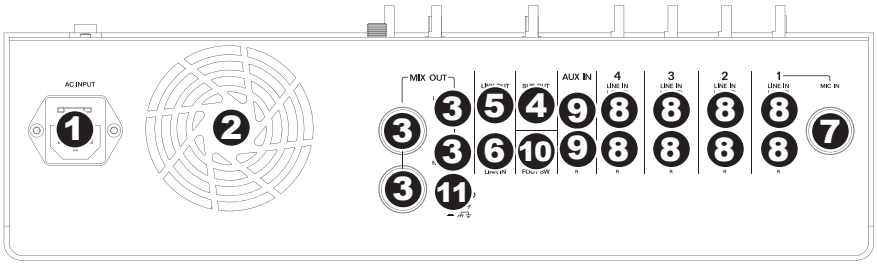
8. **CHANNEL FX(チャンネル・エフェクト)** - 各チャンネルの内蔵エフェクト適用量を調整します。

9. **EFFECT PRESETS(エフェクト・プリセット)** - 内蔵エフェクトのプリセットを選択します。

10. **EFFECT VARIATIONS(エフェクト・バリエーション)** - 内蔵エフェクト・プリセットのバリエーションを選択します。

11. **FX LEVEL(エフェクト・レベル)** - 内蔵エフェクトのレベルを調整します。

リアパネル



1. **POWER INPUT(電源コネクタ)** - 付属の電源ケーブルを接続します。電源ケーブルを抜き差しする際は、必ず電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

2. **COOLING FAN(冷却ファン)** - 本体のオーバヒートを防ぐため、この部分は塞がずにご使用ください。

3. **MIX OUT(ミックス・アウト)** - XLRバランス・ケーブルや1/4" TRSバランス・ケーブルを使用し、外部スピーカや外部ミキサなどにメインミックスを出力します。

4. **SUB OUT(サブ・アウト)** - 1/4" TRSバランス・ケーブルを使用し、別売のサブ・ウーファに接続します。

5. **LINK OUT(リンク・アウト)** - 1/4" TRSケーブルを使用し、もう1台のKICK12(別売)のLINK IN(リンク・イン)に接続します。この場合、LINK OUT(リンク・アウト)に接続されているアンプが「マスタ」、LINK IN(リンク・イン)に接続されているアンプが「スレーブ」となり、音量等のコントロールは「マスタ」側のアンプで行います(どちらのアンプにも同じ信号が並行で出力されます。ステレオにはなりません)。または、1/4" TRS「Y」字ケーブルを使用し、2台の外部スピーカや外部ミキサにステレオで出力することも可能です。

6. **LINK IN(リンク・イン)** - 1/4" TRSケーブルを使用し、もう1台のKICK12(別売)のLINK OUT(リンク・アウト)に接続します。この場合、LINK OUT(リンク・アウト)に接続されているアンプが「マスタ」、LINK IN(リンク・イン)に接続されているアンプが「スレーブ」となり、音量等のコントロールは「マスタ」側に依存します(どちらのアンプにも同じ信号が並行で出力されます。ステレオにはなりません)。

7. **MIC IN(マイク入力端子)** - XLRケーブルを使用してマイクを接続してください。

8. **LINE IN(ライン入力端子)** - 1/4" TRSバランス・ケーブルを使用して、ラインレベルの楽器や音楽プレーヤなどを接続します。モノラル・ソースを接続する場合は、L(MONO)端子を使用してください。

9. **AUX IN(AUX入力端子)** - RCAケーブルを使用してラインレベルの音楽プレーヤなどを接続します。

10. **FOOT SW(フットスイッチ入力端子)** - ラッチタイプのフットスイッチ(別売)を使用して、内蔵エフェクトのオン・オフを切り替えることができます。

11. **GROUND SWITCH(グラウンド・リフト・スイッチ)** - このスイッチを押すと、グラウンドが接地され、ハムやノイズを抑えます。

仕様

出力:	400W ピーク(270W LF @ 8Ω + 130W HF @ 8Ω) 200W 連続 RMS(135W LF @ 8Ω + 65W HF @ 8Ω) **ヘッドフォン出力:**105mW、75kΩ
クロスオーバ:	3kHz
周波数特性:	65Hz〜19kHz(+3dB)
低域:	12"(305mm)ウーファ、2"(51mm)ボイスコイル
高域:	コンプレッション・ドライバ、1"(25mm)
入力レベル:	**XLR**(Mic - Ch1):-10dBu 最大 **1/4"**:-10dBV 公称、0dBV 最大 **RCA**:-10dBV 公称、0dBV 最大
チャンネル・ゲイン:	-∞ to +10dB(Ch1 to Ch4)
出力ゲイン:	-∞ to +10dB(メインミックス・アウト)
最大有能利得:	XLR(Mic - Ch1):40dB Line:30dB (固定プリアンプゲイン含)
コネクタ:	**入力:** XLR x 1 1/4" TRSライン x 8(4ステレオペア) RCA x 1(ステレオペア) 1/4" TRSリンク x 1 1/4" TSフットスイッチ x 1 **出力:** XLR x 2(L/R) 1/4" x 2(L/R) 1/4" TRSサブウーファ x 1 1/4" TRSリンク x 1 1/4" TRSヘッドフォン x 1
エフェクト:	アレシスDSP、16エフェクト x 16バリエーション **ボーカル**:Vocal1、Vocal2 **リバーブ**:Large Hall、Small Hall、Large Room、Small Room、Plate Reverb、Tape Reverb、Spring Reverb **ディレイ**:モノ、ステレオ **モジュレーション**:フランジャ、コーラス **コンビネーション**:Reverb+Delay、Reverb+Flanger、Reverb+Chorus
電力:	100VAC(-10%/+15%)50/60 Hz;IECコネクタ Inrush current at initial switch-on:1.01 A Inrush current after power supply interruption:1.81 A
エンクロージャ:	コンポジットウッド、スチール製グリル、サイドハンドル x 2、トップハンドル x 1
サイズ(W x H x D):	約483 x 465 x 361mm
重量:	約17.8kg